

学校教育目標	「夢に向かって」
目指す学校像	希望をもって登校し、学校では笑顔で活動し、毎日満足して下校する生徒の育成
重点目標	1 確かな学力と発達支持的生徒指導の推進 2 豊かな人間性と健やかな体の育成 3 地域の豊富な資源の活用 4 安心安全な校内環境の整備 5 教員研修の充実

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。  
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

		学 校 自 己 評 価				学校運営協議会による評価	
		年 度 目 標		年 度 評 価		実施日令和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<b>【現状】</b> ○全国学力・学習状況調査(R6)では、国語・数学・英語の正答率が市平均以下だった。(国語：57 数学：50) ○市学習状況調査(R6)の、「将来の夢や目標をお持ちですか」の問いに対して肯定的な回答が78.5%であった。(R5 74.3%) <b>【課題】</b> ○各教科において基礎基本の定着のため、全教科で「話し合い活動」を充実させ、自分や他人の意見を自分事として捉える力を育成する。	生徒の基礎基本の定着、学びに向かう力の育成	①市教委による学校カウンセリングを実施し、全国学力・学習状況調査や市学習状況調査の結果を分析し、授業改善を行う。 ②要請訪問を行い、一人1回以上の公開授業を行い、教職員の指導力向上に努める。	①全国学力・学習状況調査や市学習状況調査で市平均を上回ることができたか。 ②教職員一人1回以上の公開授業ができたか。			
		生徒の基礎学力の向上のための、教員の指導力向上	①全教科で市教委の要請訪問を実施し、生徒の基礎学力定着のための教員の指導力・授業力を向上させる。	①「学びの指標」アンケート結果を分析し、授業改善に努め、第1回の数値より第2回の数値が上回ることができたか。			
2	<b>【現状】</b> ○学校評価(生徒)の「土屋中学校で生活するのが楽しい。」の問いに肯定的な回答した生徒の割合は92.3% (R5 95.3%) ○生徒会活動を中心に、生徒の主体的な活動の場を設定する。また、生徒会や各委員長、部活動部長を集めた組織を作り、生徒の生徒による生徒のための学校を目指す。 <b>【課題】</b> ○学校生活の不安や不登校傾向や配慮を要する生徒が増加している。 ○おはようメーターの定着。	希望をもって登校し笑顔で活動し満足して下校する生徒の育成	①学校行事については、完全実施を行う。また、新たに40周年の記念行事として文化祭等、生徒が中心となる行事を計画する。 ②学校行事に地域や保護者が積極的に参加できるように、周知活動の充実を図る。	①学校評価(生徒)の「生徒は互いに認め合い助け合っている」に関わる項目で肯定的な回答の割合が昨年度より上回ったか。(昨年度 91.6%) ②学校評価(保護者)の学校行事に関わる項目で肯定的な回答の割合が昨年度より上回ったか。(昨年度 90.5%)			
		生徒を中心とした活動の活発化	①生徒会の新たな組織を立ち上げ、生徒からの意見等を吸い上げ、生徒の生徒による生徒のための学校を構築する。また、生徒の考えを取り入れ、学校運営協議会や職員会議に参加しプレゼンテーションを行う。	①生徒主体の運営により取組について、実施することができたか。			
3	<b>【現状】</b> ○学校運営協議会で、本校学校教育目標の具現化のため、地域が学校に望むことについて意見をもらい、地域とともにさらに良い学校を築くために再考をする。 ○公民館や地域等で中学生の活動する場において、参加が薄れている状況が見られる。 ○近隣の小学校、高等学校との連携し、小中高の12年間を想定した教育を実践する。 <b>【課題】</b> ○学校行事の完全実施をするともに、地域や近隣校と積極的に協力し活動を実施する必要がある。	学校運営協議会を中心とした生徒の活動場の設定	①学校運営協議会で、「地域が学校に望むこと」について意見をもらい、学校経営に生かす。また新たな委員を加え組織を再編する。 ②地域や公民館等の活動に生徒が積極的に参加できる手立てを計画する。	①学校運営協議会で出された意見について、具現化した取組が行われたか。 ②学校評価(地域)で「中学生が地域行事の参加に積極的である」の項目で、肯定的な回答が昨年度を上回ったか。(昨年度 62.5%)			
		地域の小学校、中学校、高等学校との連携・交流	①校区内小学校や近隣中学校と自然体験に取り組んだり校区内小学校の生徒指導委員会に参加したりして十分な連携を図る。 ②大宮光陵高等学校・大宮武蔵野高等学校と連携し、学習や部活動での交流を図る。	①中学校区の小学校と近隣中学校との連携した取組ができたか。 ②高等学校と連携した取組を行い、充実した交流を実施することができたか。			
4	<b>【現状】</b> ○Sola る一むの設置については、現在さわやか相談室と併用している。 ○校内の環境については、古くなった箇所が多々あり、修理を必要とする場所がある。 <b>【課題】</b> ○Sola る一むについては、場所を確保し教室環境整備が必要である。 ○修理を必要とする箇所について、迅速に修理・改善をする必要がある。	Sola る一むの設置及び運営	①PTA と連携し、場所を確保し、教室内整備を早急に行い、運営する。 ②市教委に依頼し、校内のwifi環境を整備する。また、一人1台PCの完全配付を行う	①7月を目途に、Sola る一むを開設し、今年度で運営を軌道に乗せられるようにする。 ②wifi環境の整備や、一人1台PCを配付できたか。			
		校内の修理・改善	①毎月安全点検を実施し、修理等が必要な箇所を把握するとともに、市教委と連携して改善する。 ②事務職員や業務主査と連携し、校内で改善できる箇所は迅速に対応する。	①毎月の安全点検については、管理職が確認し、危険箇所等を把握することができたか。 ②事務職員や業務主査に適切に支持を出せていたか。			
5	<b>【現状】</b> ○今年度の本校の研究課題として、基礎学力の定着のため「話し合い活動」を中心に、研修を学期に1回以上実施する。 ○様々な教育課題に適切に対応ができるよう、実践的な校内研修が必要である。 <b>【課題】</b> ○研究した内容を、全教職員で共有し、深め実践する能力を育成することが必要である。 ○経験年数が少ない教職員もいるため、より実践的な研修が必要である。	特別活動を中心とした研修の充実	①講師を招き、専門的な知識を得るとともに、公開授業を実施し研究協議を行い、実践力を身に着ける。	①学校評価(教職員)の校内研修に関わる項目で、肯定的な回答が昨年度を上回ったか。(昨年度 70.9%)			
		生徒指導・教育相談を中心とした研修の充実	①校内研修で専門的な講師からの講義や校長会主催の生徒指導・教育相談研修会に参加し、生徒や保護者に適切な対応ができる実践力を身に着ける。また、小中合同の研修会を開催し、小中の連携をスムーズにする。	①学校評価(保護者)の「いじめ対策として、早期発見・早期解決に努めている」の項目で、肯定的な回答が昨年度を上回っているか。(昨年度 63%)			

学びの質の向上に関する取組

子どもの発達や心のサポートに関する取組

地域とともにある学校づくりに関する取組

教育環境の整備に関する取組

教職員のキャリア形成に関する取組

学校運営協議会からの意見・要望・評価等

